

# RYOJI DENTAL CLINIC

Oral hygiene  
initial preparation  
&  
supportive therapy program  
for you



## 口腔疾患予防改善プログラムについて

PRINT- 1

PRINT- 2

口腔疾患予防改善プログラムという考え

PRINT- 3

口腔疾患予防改善プログラムが始まります

PRINT- 4

口腔疾患予防改善プログラムで行うこと

PRINT- 5

口腔疾患予防改善プログラムで得られるもの

PRINT- 6

口腔疾患予防改善プログラムの科学とは

PRINT- 7

口腔疾患予防改善プログラムと歯周治療

PRINT- 8

口腔疾患予防改善プログラムと一般的歯科治療

PRINT- 9

口腔疾患予防改善プログラムの流れ

PRINT- 1

Oral hygiene  
initial preparation  
&  
supportive therapy program  
for you

## 口腔疾患予防改善プログラムという考え



お口の中で起こる疾患、歯を喪失する原因の90%以上がムシ歯と歯周病に由来するものです。あなたの歯をこれ以上失わないようにするためには、このムシ歯と歯周病にかからないようにすることが重要です。

ところで、平成17年度国民健康実態調査では、日本人の80歳の残存歯数は7、8本とされています。実態調査とは、予測ではなく、まぎれもなく我々日本人の現状ということです。

一般的な歯の総数は28本とされています。  
想像できますか…？  
もし、あなたが今までに歯を失った記憶がなければ、  
そして、あなたが平均的な日本国民ならば、  
80歳までに20本近くの歯を失っていくということを…  
なぜなら、実態調査とは、日本国民であるあなた自身の調査ですから…  
これが、現在の日本の歯科医療の現状なのです。

仮に、あなたの歯をしっかりと末永く残す方法があるとするれば、あなたはそれに取り組みますか？

それとも、現状を受け入れ、多くの歯を失うことを受け入れていかれるのでしょうか？

あなたが、本当に、ご自身のお口の中の健康を獲得したいと思われるならば、そして、それを末永く維持したいと思われるならば、我々の歯科医院では、それを手助けするプログラムをご用意しています。

Oral hygiene  
initial preparation  
&  
supportive therapy program  
for you

## 口腔疾患予防改善プログラムが始まります

いよいよ次回から口腔疾患予防改善プログラムが始まります  
あなたの末永いお口の健康を獲得するための第1歩です

†

初回は、これからあなたがどのように口腔疾患の改善や予防に取り組むかを相談するお時間です。具体的には、担当歯科衛生士との面談から始まりますが、今までのあなたの口腔ケアへの取り組み方をお持ちいただいたアンケートを参考に伺わせて頂きます。

また、このプログラムで何に取り組むか、どのような流れで進めていくかなどを相談していきます。

あなたの今の状態を確認、把握するためのお時間ですので、普段どおりの状態で来院していただいてもかまいません。普段の口腔ケアの状態も伺わせていただきますので、普段のセルフケアで使用中の歯ブラシ類をお持ちください。

必要に応じて、適切なブラシを選択し直すこともあります。

また、歯科医からのこのプログラムの説明、ご自身の治療計画の説明で疑問に思ったことや話しそびれたことなども質問できます。

口腔内を健康に戻していくために、まず最初に歯科衛生士とともにこのプログラムに取り組み、その後に行われる修復治療に向けて準備を整えていきます。

このプログラムは歯科衛生士との二人三脚です。あなたのお口の健康を取り戻し、末永くそれを維持するという目標を共有することが大切です。

Oral hygiene  
initial preparation  
&  
supportive therapy program  
for you

## 口腔疾患予防改善プログラムで行うこと



今までの口腔ケアへの取り組み、ブラッシングの問題点や習慣などを見直し、適切な歯の手入れが行えるように取り組んでいきます。

ブラッシングのテクニック習得と、日々の習慣づけが大きな目標となります。プログラムが進むに従って、しっかりした口腔ケアが行えるようになると、歯肉のコンディションが整っていきます。そうなるように、しっかりとサポートしていきます。

このプログラムには2つの目標があります。一つは、末永い口腔健康の獲得と、もう一つは、これから予定されるさまざまな治療を成功させる基礎作りをすることです。

今までうけてきた治療を振り返ってみましょう。  
お口の中の衛生状態を改善せずに治療を受けてきませんでしたか？

その結果、うまくいっていたのでしょうか？  
更に、ムシ歯、歯周病をつくった原因を解決せず、そのまま治療を終えていませんでしたか？

その結果、また新たな問題が発生しませんでしたか？

歯を削る治療の繰り返しの結果、最後に歯を失うのです。  
更に、歯周病により歯肉に炎症が起こり、腫れや痛みを繰り返し、これもまた最後に歯が抜け落ちるのです。

歯を大切にしようと、早期発見、早期治療を心がけているのに、治療の繰り返しの続けていませんか？

その先に、歯の喪失があることに気づいていますか？

今、必要なことに気づいて下さい。

お口の健康を末永く守ること。

それを実行するために、このプログラムをご用意しました。

Oral hygiene  
initial preparation  
&  
supportive therapy program  
for you

## 口腔疾患予防改善プログラムで得られるもの



このプログラムには2つの目標があります。  
一つは、末永い口腔健康の獲得であり、もう一つは、これから予定されるさまざまな治療を成功させる基礎作りをすることです。

このプログラムが進むに従って、しっかりした口腔ケアが行えるようになると、歯肉のコンディションが整っていきます。

徹底した口腔ケアで、ムシ歯の原因となるプラークを除去し、ムシ歯が出来にくい、進行しにくい環境を整えます。また、出血のない硬く引き締まった歯肉の獲得を目指します。

ブラッシングが定着してきたら、あらためて、歯科医の再検査が行われます。  
プラークがうまく除去できているかどうか、ムシ歯の進行を止めることができているかどうか、ムシ歯の進みかけたところが再石灰化により、強い歯質になっているだろうか？

また、歯肉の出血はないだろうか、固く引き締まった歯肉に向かっているだろうか？ ブラッシングの効果で歯肉の変化が認識でき、そろそろ歯石除去などの歯周病治療に入れるだろうか？

より良い歯科治療を成功させるためには、準備が必要です。  
口腔内の状態がうまくと整ってから行われる歯科治療は、良好な結果を生み出します。ムシ歯、歯周病などの治療、或は、修復治療に、より良好な結果をもたらすのです。

もうお気づきですね…

しっかりと治療したあとは、新たな問題を起こさないように、あなたは、獲得した口腔健康を、適切な口腔ケアにより維持し続ければ良いのです。

Oral hygiene  
initial preparation  
&  
supportive therapy program  
for you

## 口腔疾患予防改善プログラムの科学とは

ムシ歯、歯周病への科学的な予防、治療の考え方と取り組みについて

†

「ムシ歯も、歯周病も細菌感染によって起こる感染症です。」

例えば、普通の医療を考えれば、感染を起こしてはいけない手術を、不衛生な環境で行うことは、現代医療で、あり得るでしょうか？普通なら、出来る限り衛生的な環境で、出来れば無菌的な手術室で行うのではないのでしょうか？

お口の中で行われる治療の多くが、本来、無菌的な状況、出来る限り衛生的な環境で行われるべきものです。それは、ムシ歯も、歯周病も細菌の感染が要因で起こる病気であるからです。

にもかかわらず、今まで、或は今でさえ、多くの歯科治療が不衛生な環境のもとで行われていることが多いのです。

お口の中で完全な無菌状態をつくることは困難ですが、少しでも衛生的な環境で、あなたの大切な歯を治療したいと思いませんか？

「ムシ歯も歯周病も生活習慣病です。」

普通、慢性疾患や生活習慣病への治療には、日々の悪習慣を改善する取り組みが必要ですし、再発予防のための心がけが必要ではないのでしょうか？

国の医療施策の分類でも、歯周病は生活習慣病として位置づけられ、生活習慣改善への取り組み、再発予防への取り組みが重要としています。

ところが、多くの方が、ムシ歯、歯周病を患っているにも関わらず、その改善、予防に取り組んでいないのです。そして、その再発を繰り返し、最終的に歯を喪失しているのです。

あなた自身の大切な歯を失わないために、その取り組みを始めませんか？

## 口腔疾患予防改善プログラムと歯周治療

歯周治療（非外科的処置、歯周外科処置）への移行について

†

歯科衛生士、歯科医による歯周治療への施術介入

このプログラムが進むに従って、しっかりした口腔ケアが行えるようになると、徐々に歯肉のコンディションが整っていきます。

徹底した口腔ケアで、ムシ歯や歯周病の原因となるプラークを除去され、ムシ歯が出来にくい、進行しにくい環境も整っていくでしょう。

最終的に、出血のない硬く引き締まった歯肉の獲得を目指すのですが、ブラッシングが定着してきたら、また、ブラッシングの効果で歯肉変化を認識できたら、衛生士による歯周治療の非外科的な処置(スケーリング等)に入ります。

今までのケアでプラークが取れていなかったところが石灰化し歯石になっています。歯肉が引き締まり、歯石が見えるようになった場所からスケーリングを行います。場合によっては、部分的な麻酔を行い、疼痛を緩和して歯石をとることもあります。これらは、患者さんの日々のセルフケアがうまくいき、歯肉に変化が現れてから行われる治療です。

歯根は複雑な形態をしています。既に歯周病がかなり進行している場合は、その歯根にさまざまな様式で歯石が沈着しています。これを丁寧に取り除くには困難を極めます。既に、歯周病が進行している場合は、必要に応じて、歯科医が外科的な処置を加え、これを取り除く手立てを行います。部位や条件によっては、残念ながら有効な手立てにならない場合もあります。

それでも、患者さんの日々のセルフケアがうまくいっている場合、歯の温存が期待でき、長期延命も期待できることも多いのです。

Oral hygiene  
initial preparation  
&  
supportive therapy program  
for you

## 口腔疾患予防改善プログラムと一般的歯科治療

ムシ歯治療、修復治療、口腔機能回復治療への移行について

†

しっかりした口腔ケアが行えるようになると、徐々に歯肉のコンディションが整っていきます。また、ムシ歯や歯周病の原因となるプラークを常に除去され、ムシ歯が出来にくい、進行しにくい環境も整っていきましょう。

最終的に、出血のない硬く引き締まった歯肉の獲得を目指します。そしてこの時期に、あらためて、歯科医による口腔内の再評価が行われます。

本来、歯の修復治療はこれら全ての環境が良好に整えられてから行なわれるべきです。口腔環境や口腔ケアの状態が良好と判断されてから、実際のムシ歯治療、修復治療、さらに、被覆冠やブリッジ、義歯といった咬合改善治療は行われるべきなのです。

そして、それらが末永く維持、機能するように日々管理する方法もセットでご提供することが、しっかりとした歯科治療だと、私たちの歯科医院では考えています。

なぜなら、我々の治療のゴールは修復物の装着で終わるわけですが、患者さんの咬合機能は、その日にはじめて回復され、そこから口腔機能の営みがスタートするわけです。

その後の良好な口腔機能の営みが続く手立てをお伝えすること、即ち、このプログラムを提供し、習得していただくシステムをご用意することも、末長い口腔健康の維持に重要と考えているのです。

リョウジ歯科 院長

Oral hygiene  
initial preparation  
&  
supportive therapy program  
for you

## 口腔疾患予防改善プログラムの流れ

歯科医による口腔全体の診査診断・治療計画  
担当歯科衛生士による初期治療  
歯科医による再評価



■ このプログラムを始めるにあたって、歯科医による口腔全体の診査診断が必要になります。また、その結果から、今後の口腔健康獲得への取り組みについてのご提案をさせていただきます。

- ・ 口腔全体の診査診断
- ・ 治療計画の作成
- ・ 歯科医によるコンサルテーション／口腔健康獲得への取り組み

■ その後、担当歯科衛生士が10回のプログラムを進めていくのですが、最初に医療面談（アセスメント面接）があります。ここで、今後の口腔健康獲得への第一歩である口腔ケアへの取り組み方を相談していきます。そして、あなたのお口の中にとって最適な口腔ケアの方法を獲得していただくための個別のプログラムを組んでいきます。

ここから、ブラッシングのトレーニングが始まります。今までのブラッシングの問題点や、習慣などを見直し適切な歯の手入れが行えるように取り組んでいきます。また、自宅でも同じように取り組むことを続けていきます。それが定着してくるまでの期間がここでの施術期間、回数となります（全10回）。具体的な施術間隔や期間は、その方に合わせて、担当歯科衛生士が判断します。

- ・ 担当歯科衛生士によるアセスメント面接
- ・ 歯肉縁上のプラークコントロール／ブラッシングのトレーニング
- ・ スケーリング（歯石除去）

□ プログラムが進み、口腔内にどのくらいの変化があったかをみていきます。初期治療の効果をみて、またその結果に基づき、その後の治療計画をたていきます。ここであらためて、その後の治療プランについて相談していきます。

- ・ 歯科医による再評価
- ・ 歯科医によるコンサルテーション／口腔機能の改善

Oral hygiene  
initial preparation  
&  
supportive therapy program  
for you

## 口腔疾患予防改善プログラムに関するお願い

### 施術予約に関するお願い



現在、当医院の歯科医療への取り組み（コンセプト）を理解していただき、ご自身の確かな口腔健康獲得と、その後の末永い口腔機能の維持・口腔健康の維持を目指し、口腔疾患予防改善プログラムを希望される方が増えております。

そのため、全体的な施術予約が取りにくい状況になっております。せっかくのご要望に、即座にお応えできないことに関しましてお詫び申し上げます。

実際のプログラムが開始されますと、最初は1、2週間に1回といったペースですが、ある程度、セルフケアが習得されますと、その後、月に1、2回といった比較的緩やかなペースで進んでいきます。また、施術間隔は担当歯科衛生士とのご相談により行われます。基本的に、歯科衛生士との間で、施術予約日を決めていただくことになります。

口腔全体の診査診断は歯科医が行います。また、口腔健康獲得に関するご提案や、口腔機能回復に関する治療計画の立案は、歯科医によって行われます。また、それに付随して行われる診断資料の採得も歯科医が中心に行います。この過程も、口腔疾患予防改善プログラムにおいて重要なものとなります。

現在、当医院の歯科医はひとりで対応しておりますので、実際の治療に関わる時間でのコンサルテーションは困難になってきており、当医院の休憩時間を歯科医によるコンサルテーションの時間にあてているのが現状です。

コンサルテーションのご予約の時間帯を指定させて頂いておりますが、その点をご理解の上、ご対応いただきます様、よろしく申し上げます。

また、当医院では、より良い歯科医療を目指し、また、確かな治療成果をあげるために『計画治療』を実施しております。この点もご理解いただきます様、重ねてお願い申し上げます。